

救急搬送患者の傷病程度割合

【指標の説明】

当院の救急医療の特徴を表す指標です。

本指標は、消防本部が「ぎふ救急ネット」に入力する搬送事案ごとの傷病程度データを用いています。

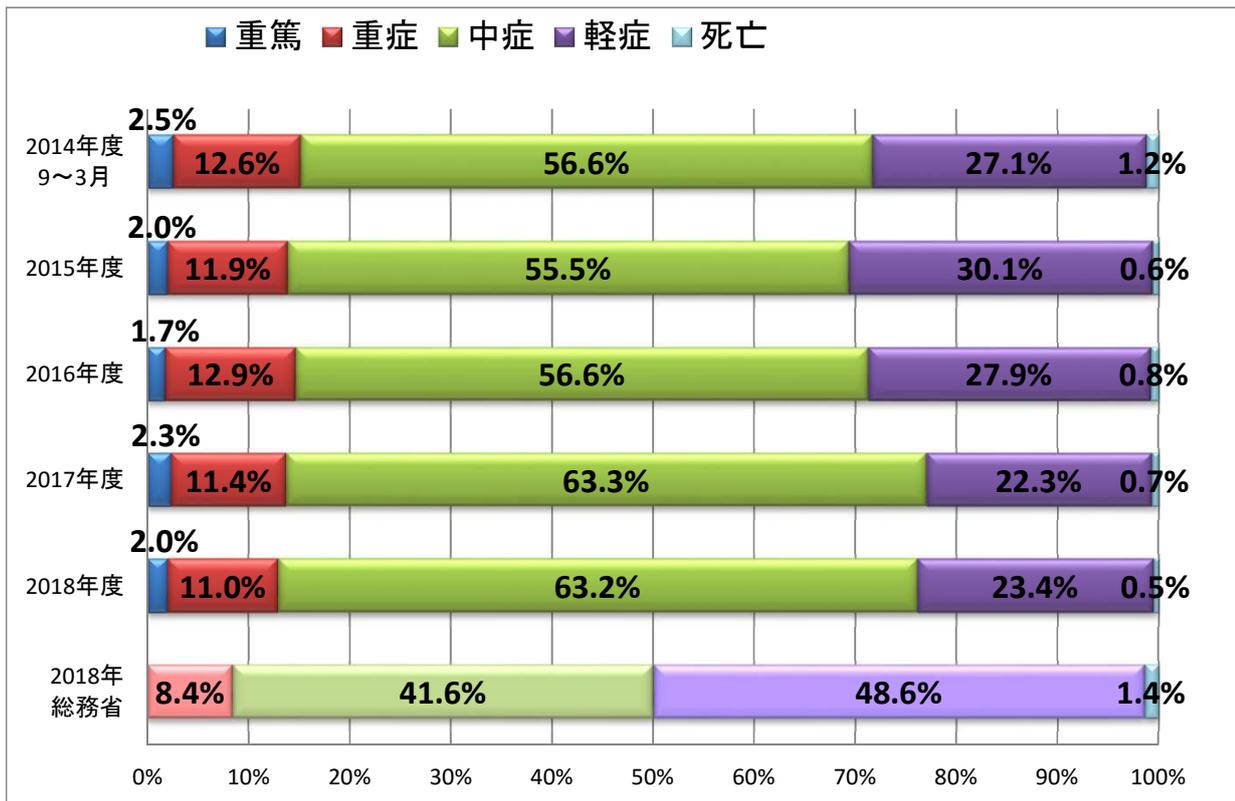
当院は三次救急病院のため、地域の他医療機関に比べ重症度の高い患者さんの割合が高くなっています。当院の救急応需率は90%以上であり、救急外来では救急スタッフと研修医が常時待機し救急搬送に備えています。

【定義】

消防本部が「ぎふ救急ネット」に入力する搬送事案ごとの傷病程度データより算出。

傷病程度分類は次のとおり。

<重篤>	心肺機能停止
<重症>	3週間以上の入院を必要とするもの
<中症>	重症、軽症以外
<軽症>	入院を必要としないもの
<死亡>	初診時に死亡が確認されたもの



<比較対象>

総務省消防庁「平成30年版救急・救助の現況」より、平成29年中の傷病程度別の搬送人員

※下記の5分類。<その他>0.1%は上記グラフでは省略。

- <重症> 傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの以上
- <中等症> 傷病程度が重症または軽症以外のもの
- <軽症> 傷病程度が入院加療を必要としないもの
- <死亡> 初診時において死亡が確認されたもの
- <その他> 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、並びにその他の場所に搬送したものの
